熊本県救護施設協議会

熊救協

http://kumakyukyo.sakura.ne.jp

2013年 6月号(NO. 22)

ごあいさつ

しらがね寮　施設長　前田　洋

4月から、救護施設しらがね寮に施設長として勤務いたしております前田と申します。

しらがね寮は、あさぎり町が運営している公設公営の救護施設で、あさぎり町は、平成15年に旧5ヶ町村が合併した町で今年11年目を迎えます。

あさぎり町は、球磨盆地の中央に位置し、白髪岳や若鮎おどる球磨川に囲まれた自然豊かな地域に施設があります。

当施設は、「利用者の人格を尊重し、利用者の心身の状況に応じた適切な介護及び指導を行い、安定した日常の生活を営むことができるよう努める」ことを運営方針に掲げ、穏やかな日々が送れるよう支援しております。

男性25名、女性25名の計50名の利用者がおられますが、平均年齢が70歳と高齢化しております。障がいのある方も多くおられますので、見守りや声掛け、温かみのあるお世話を行いながら生活の質(QOL)が低下しないよう支援していく必要が益々高まっており、日々職員の資質の向上に努めていきたいと考えております。

今後、利用者の方々が、笑顔に溢れ笑い声が聞こえる施設を目指して、職員一同、気配り、目配り、心配りに配慮しながら施設運営を行っていきたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

～地域貢献事業への取り組み～　　野坂の浦荘編

野坂の浦荘では町の委託を受け「食の自立支援配食サービス事業」を行っています。

一人暮らし等高齢者に月曜日から金曜日までの昼食、夕食の配食サービスを行っており、開始してから２７年目を迎えておりますが、現在18名の方が利用されています。農山漁村の高齢化率は３７.３％と高く、１人、２人暮らしの高齢者世帯が多く、車にも乗れない、近くに買い物する場もない等、高齢者にとってはこの配食サービス事業は栄養面でも、安否確認でも大きな役割を果たしています。

また、この配食サービスとは別に自主事業として、当施設が隣接する地域の一人暮らし高齢者に、施設で毎月行っている誕生会の日に同じ料理を無料でお届けしています。

配食サービスも、施設の誕生会のお届けも、利用者のみなさんに大変喜ばれています。

「野坂の浦荘のお弁当はごっつお（ご馳走）です。そして、配達する職員の人たちと話せるのが良かぁ。この人たちの笑顔をみるとが楽しみです。」と週3回の配達を心待ちされています。

これからは、施設利用者のみでなく地域へ救護施設のノウハウを提供し、地域に貢献することが期待されております。

一人暮らし等高齢者の方は社会とのつながりが難しくなっています。栄養面だけでなく、心の栄養（笑顔）をお届けする気持ちで今後も続けていきたいと思います。

施　設　名	施設長名	所　　在　　地	定員	開設年月日	電話番号
友愛会銀杏寮	本山　雅徳	熊本市西区春日５丁目１７番３６号	６０	S35. 12. 1	096-352-6602
しらがね寮	前田　洋	球磨郡あさぎり町上西835-2	５０	S43. 4. 1	0966-45-6668
天　草　園	三宅栄一郎	天草市河浦町宮野河内3662-2	７０	S43. 12. 10	0969-78-0053
菊　池　園	福原　孝明	菊池市泗水町吉富17-1	５０	S47. 10. 11	0968-38-2956
野坂の浦荘	永山　惠一	葦北郡芦北町大字田浦町358-2	５０	S55. 5. 1	0966-87-2277
真　和　館	藤本　和彦	阿蘇郡西原村大字鳥子3072	５０	H18. 4. 28	096-279-1121
千　草　寮	片山　辰己	八代市千丁町太牟田2618	５０	H21. 4. 1	0965-46-0032

役職員名簿

役職名	職名	氏名	施設名
会　長	施設長	藤本　和彦	真和館
副会長	施設長	永山　惠一	野坂の浦荘
監　事	施設長	片山　辰己	千草寮
事務局	事務員	平畑　佳朗	真和館

事業検討委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	施設長	福原　孝明	菊池園
副委員長	生活支援員	松中　直人	天草園
委　員	介護ｽﾀｯﾌ	吉住　栄一	銀杏寮
〃	介護職員	那須　貴仁	しらがね寮
〃	介護支援員	前川　真	千草寮
〃	介護支援員	原口　洋宇	野坂の浦荘
〃	介護職員	森田　良治	真和館

研修委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	施設長	前田　洋	しらがね寮
副委員長	生活支援員	蒔本　健作	天草園
委　員	介護ｽﾀｯﾌ	澤田　理美	銀杏寮
〃	介護支援員	津田　幸代	菊池園
〃	介護支援員	横尾ひとみ	野坂の浦荘
〃	指導員	田上雄次郎	真和館
〃	介護支援員	山口　光明	千草寮

調査・研究委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	副施設長	三宅　浩徳	天草園
副委員長	生活支援員	冨田　竜二	菊池園
委　員	介護支援員	太田　仁美	野坂の浦荘
〃	介護職員	岩崎　誠	しらがね寮
〃	指導員	松本　諒太	真和館
〃	介護支援員	奥村　恵子	千草寮
〃	相談員	渕上慎一郎	銀杏寮

新任職員紹介　～新しい仲間が加わりました～

天草園
介護支援員　福田　美鶴

菊池園
調理員　高本　富美

真和館
介護職員　高谷　厚

野坂の浦荘
事務長　迫本　文雄

しらがね寮
介護職員　蓑田　輝幸
介護職員　田原　茂
看護師　皆越ふさ子

熊救協 2013　6月号(No22)　編集後記

大学卒業後、救護施設真和館で働くようになり１年が経過しました。大学で福祉を学びましたが、現場に出てみると分からないことだらけで、あっという間に時間が過ぎて行ったように感じます。これからも職員として、そして一人の人間として、日々入所者の皆さんから学ぶという姿勢を大事にし、努力を重ねて行きたいと思います。

《熊救協調研委員：松本　諒太（真和館）》

編集：熊本県救護施設協議会
調査・研究委員会
発行：熊本県救護施設協議会

事務局：〒861-2401　熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子3072番地
真和館　Tel（096）279－1121
Fax（096）279－1122

事業検討委員会

【平成24年度事業報告】
　昨年5月17日、宇城市の「ウィングまつばせ」でスポーツと文化を併せた交流会を開催した。午前の部でニチレクボール（27チーム参加）と輪投げ（7チーム参加）のスポーツ交流、午後の部は各施設職員自慢の踊りや合唱、そして利用者のカラオケ発表などの文化交流を行った。同時に会場内ロビーでは各施設利用者の力作ぞろいの作品展も行った。来賓や施設関係者含めて約200名が参加し、終始和やかな雰囲気の中で有意義な交流会となった。

■事業検討委員会

第1回　平成24年5月　　H24年度交流会最終打ち合わせ
第2回　平成24年8月　　交流会の総括と今後の交流会の在り方検討
第3回　平成25年2月　　H25年度交流会等の事業実施計画について

【平成25年度事業計画】

■救護施設交流会　開催日：平成25年5月23日(木)
　　会　場：パークドーム（熊本市）
　　内　容：スポーツ交流(グラウンドゴルフ、ニチレクボール、輪投げ)

■事業検討委員会

第1回　平成25年5月　　H25年度交流会最終打ち合わせ
第2回　平成25年6月　　交流会の総括と今後の交流会の在り方検討
第3回　平成26年2月　　H26年度交流会等の事業実施計画について

研修委員会

【平成24年度事業報告】

■職員研修会
第1回は、九州北部豪雨(H24. 7.12)や風邪の発生(H24. 12. 6)により、延期し平成25年3月21日(木)に開催。
場所：西原村構造改善センター
内容：午前、午後とも職種別によるグループ討議
第2回　平成24年10月3日(水)　くまもと県民交流館パレア
テーマ：「こころの病気(精神障がい)に関する研修会」
内容
・行政説明　県健康福祉部長寿社会局　社会福祉課保護生活支援班
　　参事　中尾 稔様
・講話「統合失調症について」講師　作家　森　実恵先生
・講話「精神障がいについて」講師　弓削病院医師　境　小緒里先生
・講話「アディクション(依存)について」講師　桜が丘病院長　赤木　健利先生

■研修委員会
　①平成24年4月19日しらがね寮　②平成24年8月7日野坂の浦荘
　③平成25年1月22日銀杏寮

【平成25年度事業計画】
　環境変革に伴う時代のニーズに応えるため、職員の意識改革並びに職員資質の向上に重点を置き、利用者支援研修を主体的に実施することで、専門職としての資質の向上を図る。

■研修会
第1回　平成25年6月20日　天草園
　　天草園視察研修・職種別グループ討議
第2回　平成25年10月23日　くまもと県民交流館パレア
・行政説明（予定）
・全日本断酒連盟理事・島根県断酒新生会理事長　杉浦　勝栄様の講演
・森口病院(鹿児島県)　院長　森口　進様の講演
・NPO法人ジャパンマック（J-MAC）内 みのわマック 元施設長　山本 晋一様の講演

■研修委員会
　平成25年4月18日(木)　天草園　平成25年7月25日(木)　菊池園
　平成26年1月23日(木)　千草寮

調査・研究委員会

【平成２４年度事業報告】
■委員会の開催
　第１回：平成２４年　４月１７日（火）（千草寮）
　第２回：平成２４年１０月１７日（火）（菊池園）
　第３回：平成２５年　２月　１日（金）（銀杏寮）
■熊救協広報誌の発行
　熊救協第２０号（６月発行）　送付先⇒１３４カ所１９５部
　熊救協第２１号（１月発行）　送付先⇒１３４カ所１９５部
■熊救協ホームページの更新
　平成２４年　４月２６日（熊救協広報誌バックナンバー第１９号の追加）
　平成２４年　７月３１日（熊救協役員名簿、事務局、各施設概要等更新）
　平成２４年　７月３１日（熊救協広報誌バックナンバー２０号の追加）
　平成２５年　１月３１日（熊救協広報誌バックナンバー２１号の追加）
　平成２５年　３月１１日（マニュアルの追加）
■個人情報の取り扱いに関する同意書を作成し、ホームページのマニュアル集に追加掲載した。
【平成２５年度事業計画】
■委員会の開催　４月（千草寮）１０月（菊池園）２月（銀杏寮）
■熊救協広報誌の発行　第２２号（６月発行）第２３号（１月発行）
■熊救協ホームページの更新
　・熊救協役員名簿等の更新　・各施設利用者状況等の更新　・アンケート調査結果の掲載
■救護施設利用者サービスに関するアンケート調査の実施
　･調査　･集計分析

平成２５年度救護施設交流会　　～ｉｎパークドーム～

　去る５月２３日、熊本市のパークドームにて、平成２５年度救護施設交流会が開催されました。県下７施設の利用者・職員、来賓として熊本県や県・市の福祉事務所、大会ボランティアとして熊本県グラウンドゴルフ協会の皆さん総勢２３９名の方に参加頂き、盛会の中に開催することが出来ました。これも一重に、参加して頂いた利用者、来賓・ボランティアの皆様方のご協力の賜物であり、改めまして厚くお礼申し上げます。特に、熊本県グラウンドゴルフ協会の皆様方には、準備、進行、記録全てにおいてご協力を頂き、楽しくスムーズな大会の進行が図れました。誠にありがとうございました。

　グラウンドゴルフには利用者・来賓で84名エントリー。16ホールにおいての個人戦が行われ、34のハイスコアで真和館の利用者が優勝されました。福祉事務所の方とも普段にはない交流が図られ、有意義な時間を過ごして頂いたと思います。
　又、ニチレクボールは、利用者チーム16・来賓チーム1・施設長チーム1の計18チームが参戦。予選リーグ・決勝トーナメントで熱戦が繰り広げられ、見事にしらがね寮Ａチームが優勝されました。施設長チームも、力の限りを尽くてし利用者と真剣勝負を繰り広げられ、大接戦でしたが惜しくも準決勝で敗退、勝者の利用者チームに心から惜しみない拍手を贈られていました。

　輪投げには、利用者37名が参加。各施設の平均点数による施設対抗団体戦で熱戦が繰り広げられ、千草寮チームが92.7点（1人5輪10投、施設参加人数の平均点）で見事優勝されました。
　このように県下7施設が一堂に会して行う行事は、この救護施設交流会のみです。各施設高齢化・重度化により、年々参加人数は減少傾向にありますが、今後も利用者の希望を出来るだけ取り入れた内容の交流会を計画し、利用者にとって本当に楽しみにして頂ける大会になるように努力して行きたいと思います。

　関係各位の皆様方には、これからも色々な面においてお世話になることが多々あるかと思いますが、利用者を中心とした救護施設交流会に深いご理解を頂き、ご指導・ご支援を頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。